

## 第11回 釜石市新市庁舎建設検討委員会結果概要

日 時 令和2年12月4日（金）14時58分から17時00分

場 所 釜石市役所第4庁舎第7会議室

議 題 議案第1号 令和元年度台風災害検証結果について  
議案第2号 日本海溝・千島海溝沿いの最大クラスの津波浸水想定について  
議案第3号 新庁舎建設周辺環境整備について  
議案第4号 今後の予定スケジュールについて  
議案第5号 その他

出 席 者 《委 員》

石垣委員、柏木委員、柏館委員、川崎委員、菊池委員、佐久間委員、  
佐々木（光）委員、佐々木（耕）委員、澤田（龍）委員、澤田（政）委員、柴田委員  
嶋委員、山崎委員

《事務局》

野田市長、藤井室長、山本補佐、洞補佐

欠 席 者 《委 員》 橘内委員、矢浦委員

《アドバイザー》 南 岩手大学理工学部教授

協議結果 事務局より「令和元年度台風災害検証結果について」及び先日内閣府より公表された「日本海溝・千島海溝沿いの最大クラスの津波浸水想定について」の説明を重点的に行い、その対策として盛土による地盤の嵩上げを提案し、建設場所についての意見を委員に求めた。

嵩上げ等の対策を講ずれば天神町への建設で良いという意見が多数だったが、意見の中には、庁舎建設には反対しないが令和3年度の岩手県発表予定の東日本大地震クラス地震の津波の浸水高の公表を待ってからも良いのではないかという意見や、地震津波等災害は想定できる危険要素だがこの部分の検討をしたことで計画を進めてもらえれば良いという意見の他、予算面についても重視すべきという意見があった。また、市民の生命を守るという視点から、津波の時はビルや高台に上がるという啓発・啓蒙が必要であり、災害時には孤立しないように両石インターを使って市役所から内陸への避難及び内陸からの支援物資の搬入などの避難施策を考えて欲しいという意見が出た。

質疑応答のあと、建設場所、津波浸水等災害への対応に係る土地の嵩上げ及び日影制限に伴い庁舎を敷地内で4メートル南側へ移動させることについて採決をし、結果として出席委員12名中（議長を除く）、賛成への挙手委員11名であった。挙手しなかった委員は、今回の日本海溝・千島海溝沿いの最大クラスの津波浸水想定に対しての対策には賛成しているが、令和3年度の岩手県公表の津波想定を待ってからも良いのではないかという意見のため挙手しなかったもの。

市長挨拶 新市庁舎建設は以前から検討してまいりましたが、建設場所として東日本大震災で被災していない場所、東日本大震災クラスの津波が来ても一定の安全が確保される場所ということで、天神町の旧釜石小学校跡地で確定をさせていただきました。そうした中、国から日本海溝、千島海溝沿いの巨大地震津波のシミュレーションが発表され、釜石市の浸水区域が広がり、東部地区から中妻地区まで浸水する可能性があるということが発表されました。その結果、天神町も浸水するということが示され、市としても、対応策をまとめたということで、皆様にお集まりをいただいたところです。

我々は東日本大震災で被災し、誰一人として犠牲者の出ない、まちづくりをしていこうという決意の中で進めてまいりました。それと同時に市の活性化や振興策も考え、この東部地区が市の発展のためには必要な場所であって、従前と同じように東部地区を中心とした「まちづくり」をし、市庁舎の整備をしたいと進めてきたところです。今回、シミュレーションが発表されましたが、この考えはこのままで良いのではないかと考えております。市にとって、まちの中心街という意味で東部地区を外しますと、市の発展は非常に難しいのではないかと考えております。来年度には、東日本大震災クラスの津波シミュレーションが発表される予定であり、今回よりも高い浸水域が想定されます。今回は1メートル程度の嵩上げをすれば浸水は免れるということですが、次回発表のシミュレーション結果によっては、東部地区をはじめ、どこにも建てられないということにもなってしまいます。

いずれこのようなことを踏まえながら、本日、皆様からいただいたご意見を基に、来年、年明けの最終的な市議会議員の皆様と意見交換の場で決めたいと思っております。本日は忌憚のないご意見をいただきながらこの委員会をまとめていただければありがたいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

#### 主な意見・質疑

【委員】 津波浸水想定の方例の幅が広すぎないか（10～20m）

【事務局】 この方例については、国で作成したのもので、1メートル単位で細かくというのは広範囲の中で難しいと思う。

【委員】 今回の津波想定は、防波堤などが破堤した前提と聞いている。これは国が出したもので、国より補償があって然るべきだと思うので、釜石市のみならず沿岸市町村は、働きかけるべきではないか。

【事務局】 法律に基づく支援制度への働きかけについては、これからという部分があり、国・県・市がそれぞれ一緒になって動いて行かなければならないものと考えている。

【委員】 今回の津波想定は、想定外という部分ではあるが、嵩上げの検討をされたところで計画を進めていただければと思う。しかし、費用についてははっきりしていないとのことなので、細やかな検討を引き続きよろしく願います。

【委員】 これまで長い時間を掛け検討してきたところで、この津波想定が出たことについては、何故もっと早く出さなかったのかと思う。釜石市は、まだ協議の余地があるが、既に建てられた宮古市などはどんな対応を考えているのか。いずれこの場所を嵩上げて建てるということについては良いのではないかとと思う。

- 【事務局】 他市町村の詳しい情報は入手していないが、ただ、同じような状況で苦労されている自治体が県内で5つあると聞いている。
- 【委員】 会議進行について、まず今回の説明についての内容理解の質疑応答をするべきだと思う。また、岩手県で令和3年度に今回の内閣府発表のシミュレーションを超える可能性がある最大規模の想定を発表すると聞いているがどうか。発表しないのであれば嵩上げによる対応で理解できるが、最大規模の津波が想定される中で、この計画で進めていいのか疑問だ。
- 【事務局】 岩手県が東日本大震災のシミュレーションを実施していることを確認している。その結果について、令和3年度中に発表になるということも確認している。ただどのような条件を付加するかなど、不明な点が多い状況であり、今回は詳しくは触れなかった。
- 【委員】 この庁舎建設は、何年も積み重ねてきた部分があり、ある程度の覚悟をしてやらなければ進めないと思う。津波だけではなく、沢対策などを取り入れながら進めてもらえればと思う。今後どのような地震が来るかわからないが、それに怯えてばかりいても前には進めないと思う。
- 【事務局】 沢対策については、あくまでも今、最優先として実施するもの。これで完全であるということではなく、今後は更なる対策を施し安全性を増し皆様が安心する「まち」をつくっていく。そういった形で進んでいければと考えている。
- 【委員】 砂防ダムやスクリーン等で、沢対策も出来、嵩上げにより、津波もだいぶ抑えられるということ、日照の問題も現時点でクリア出来ているとのことで、今回の提案は賛成である。
- 【委員】 今回の津波想定が、何故、今になって出てきたのが理解できない。これにより嵩上げすることとなり、工事の着工がいつで完成がいつになるのか。
- 【事務局】 設計の変更となるので、今実施している実施設計の期間を3から4ヶ月くらい延ばさなければならぬだろうと。更には、地盤に手を加えるので2ヶ月程度。となると、最大で半年以上、最終的な完成まで延びる可能性があるのではないかと考えている。
- 【委員】 令和3年度中に着工できるのか。
- 【事務局】 了承いただければ、令和3年度中に着工出来ると考えている。
- 【委員】 この検討中の段階で内閣府の津波シミュレーションが出て、再検討出来たのは良かった。スクリーンや嵩上げ等を検討しているので、この案で進めて欲しいと思う。
- 【委員】 小佐野コミュニティを旧小佐野中学校敷地に建設するという話を聞いた時に、向こう側のほうが良かったかなとも考えたが、ここまで設計や道路も出来ているところなので、嵩上げで済むのであれば、これで良いのかなとも思う。日照の関係で建物がどの程度、前（南側）に出るのか。

- 【事務局】 日照、日影制限の関係であれば2メートル程、南側に移動すれば良かったが、2メートルだけ移動すると、駐車スペースが中途半端になる為、結果4メートル南側に移動した。
- 【委員】 内閣府より令和2年4月21日に日本海溝、千島海溝沿いの巨大地震モデルの検討についてということで概要報告があり、その中で確実性の高い推測は現在の科学的知見では困難であると書いてある。岩手県がどういう発表をするかは知り得ないが、私は今の場所に嵩上げしないで建てても良いのではないかと思うが、浸水しない方が良いと言うのであれば1メートルでも上げた方が安心かなとも思う。あとは市民の安全確保で、津波の時は復興住宅等のビルに上るといような啓発や、いかに早く高台に行けるかという啓蒙をやっていく必要があると思う。そういう意味で新市庁舎は、今の場所で良いし、分断されない様に両石インターを活用し市役所まで来ることが出来るという施策を考えて欲しいと思う。
- 【委員】 市庁舎の建設に反対している訳ではないが、今回の内閣府の想定であればこの案で行けると思う。ただ、令和3年度にこの想定を超える発表の予定があると。洪水は対策を立てているが、これも2日間350ミリの対策で、2日間で700ミリという想定も岩手県では発表している。雨量が2倍になったら被害は2倍ではない。何乗という形で大きい被害があるはず。そういう事を踏まえ、私が言いたいのは、岩手県の発表を待てないのかということ。賛成する人は、責任を持って賛成していただきたいと思う。
- 【委員】 この委員会は、ここに市役所を建てる前提で、レイアウトや機能等の検討が主旨だと思っているが、前提のこの場所が津波で浸水する、実際洪水で浸水してしまった。その場所に建てるのですかと。当委員会の範ちゅうを超えているのではないかと思う。もう一度、建設場所としてどうなのかということ、他の機関や少し幅広い検討が必要なのではないか。
- 【事務局】 この委員会は、庁舎のレイアウト等を検討するという事となっている。今回の対策で、嵩上げをする、しない、ということがレイアウトにも影響を与えるという中では、委員皆様の意見を聞かなければならないと考えたところ。ここで全部を決定するとは思っていないが、この委員会の検論に対して非常に大きく影響する部分があるので、ここで皆様のご意見を伺いたいと考えたところ。
- 【委員】 浸水しない前提で、この場所を選んだが浸水地となってしまった。岩手県が発表した場合は、上中島、新町、あるいは小佐野町まで浸水域になるかもしれない。そういう可能性がある中で、やはり依然として当市の持続的発展、東部地区の広域な避難機能ということで、東部地区天神町に建てるというのが市民全体に理解されるのか。あるいは社会に理解されるのか。
- 【事務局】 これまで東部のまちづくりで市役所の庁舎は、拠点的な機能を持ち地域の復興に必要な庁舎であると言われてきた。これをつくれれば効果があると言われてれば、非常に悩ましいが、逆に無くなった時にどうなるのか、やはり、大きな影響があると思っている。東部のまちづくりは浸水を許容しながら進めてきた。垂直避難という考え方が必要不可欠な場所であり、庁舎は一時避難場所の位置づけがある中で、安全な機能がなければなら

ないと考えている。大きな津波が来たとしても、安全な場所、浸水しない場所という位置での一時避難機能であり、業務継続機能を担保できるような施設にしなければならない。ここが浸水する場所であるが故にそこに必要があるものと考えている。

【委員】 令和3年度に岩手県による大きな被害想定を発表があるのだから、その1年を待てないのか。

【事務局】 今回の内閣府の発表は切迫性があるというところがあり、早く整備出来ればと考えている。岩手県の発表について浸水は想定されるが、一時避難と業務継続という部分を担保しつつ、それを想定しながら今時点で整備をさせていただければと考えている。岩手県のシミュレーションについては今の段階で示せないなので、議論する形がとれないが、いずれそういう切迫性がある中では早く整備したい、一時避難場所を担保したいという中で早くやらせていただければと思っている。

【委員】 現庁舎は、壁にヒビが入って雨漏りして、これで地震が来たらという状況なのは理解している。建設には限られた条件があり、延ばすことにより財政計画や期間等、様々な事情があると思うが、災害の想定は当たると。そういう事を踏まえながら、来年度の発表をどのように捉えるかは、また判断していただくこととして、私としては、出来る限りの努力をして立派な使いやすい安全な庁舎をつくりたいと思っているので、よろしく願います。

以 上